



平成 21 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 三光ソフランホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高橋 誠一
(コード番号 1729 大阪証券取引所
(ヘラクレス市場))
問い合わせ先 執行役員経営企画室長 有保 誠
T E L 048-669-1300

平成 21 年 8 月期 中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、今般の平成 21 年 8 月期第 1 四半期の業績及び経営を取り巻く環境等の変化を踏まえ、平成 20 年 10 月 14 日に公表いたしました中期経営計画の見直しを実施いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 見直しの理由及び背景

建設不動産事業におきましては、現在の世界的な金融不安を背景に、不動産市況が急激に悪化していることから、先行きがますます不透明になっております。個人消費の低迷による経済環境の停滞や金融機関の不動産案件に対する融資姿勢の厳格化などから、個人消費者の戸建住宅や投資用マンション等への不動産購入意欲は激減しており、今後も長期にわたりこの状況が継続すると考えております。

賃貸管理事業においても、個人消費者の住居借り換え意欲の減退がみられ、法人契約の事務所等も経費削減ため解約がでてきており、当初予定していた計画よりも空室が目立ってきております。また、建設不動産事業の悪化から、新たな管理物件の獲得も鈍化しており、今までのような安定した利益確保が難しくなってきております。

尚、介護事業におきましては、今のところ当初の計画とおり順調に推移しております。

このような環境下で当社は、昨年 10 月に策定した中期経営計画に基づき、事業の選択と集中、収益性の改善のための当社グループ体制及び社内体制の見直しを推し進めておりましたが、当社グループを取り巻く環境が中期経営計画策定時の予想を超え、急激に悪化していることから短期的に好転することは難しいと判断し、中期経営計画の見直しを余儀なくすることとし、数値目標と建設不動産事業及び賃貸管理事業の事業戦略を以下のとおり修正することといたしました。

2. 中期経営計画の見直し

(旧)

(1) 連結

(単位 百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
売 上 高	32,000	35,000	38,000
営 業 利 益	1,700	2,000	2,300
経 常 利 益	1,600	1,900	2,200
当 期 純 利 益	900	1,050	1,230

(2) セグメント別

【売上高】

(単位 百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
建設不動産事業	10,000	11,000	12,000
賃貸管理事業	12,100	12,600	13,200
介護事業	10,000	11,500	13,000
合 計	32,000	35,000	38,000

【営業利益】

(単位 百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
建設不動産事業	400	500	600
賃貸管理事業	900	960	1,030
介護事業	450	600	750
合 計	1,700	2,000	2,300

(新)

(1) 連結

(単位：百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
売 上 高	26,800	28,200	30,200
営 業 利 益	750	950	1,200
経 常 利 益	650	750	1,000
当 期 純 利 益	70	350	550

(2) セグメント

【売上高】

(単位：百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
建設不動産事業	5,500	5,000	5,000
賃貸管理事業	11,300	11,700	12,200
介護事業	10,000	11,500	13,000
合 計	26,800	28,200	30,200

【営業利益】

(単位：百万円)

	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
建設不動産事業	△ 3 0 0	△ 2 0 0	△ 1 0 0
賃貸管理事業	6 0 0	6 0 0	7 0 0
介護事業	4 5 0	5 5 0	7 0 0
合計	7 5 0	9 5 0	1,3 0 0

2. 事業戦略の見直し

■建設不動産事業

三光ソフラン株式会社の支店を廃止し、経費の削減をすると共に人員を集中し、業務の効率化を図ります。

■賃貸管理事業

株式会社アップルは昨年の 10 月に「浦和西口店」を閉鎖し、11 月に J R 中央沿線上の「荻窪」と「西荻窪」に出店いたしました。現状を踏まえ每期 5 店舗の出店計画を見直し、今期は出店を見合わせる予定であります。今後も既存店舗の見直しを行い、収益の改善に努めてまいります。

以上